

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 231

事業名	社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3002			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	社会福祉総務費・1目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			兵庫県健康生活部交付金交付要綱(市町 ポランティア活動支援事業)	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_		
	まちづくりの目標		子どもを産みたい_育てたいまち【子育て】		
	施策目標		子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える		

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)				
		社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会(コミュニティワーカー6名 ボランティアコーディネーター4名)		構成人数(人)	10	
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)				
		地域福祉の中核的機関として多様な福祉ニーズに応えるために、地域の特性を踏まえ独自の事業等により地域福祉の増進を図る。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等)				
		・配食、給食サービス事業・心配ごと相談事業・生活福祉資金貸付事業・共同募金事業・福祉サービス利用援助事業・ミニデイサービス事業・介護用品の斡旋、貸出事業・ボランティアセンター事業				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)				
	社会福祉法に基づき設置され、地域福祉の推進を図ることを目的とする社会福祉法人。					
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 ()	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()	<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()
補助金算出根拠	[ボランティアセンター運営費] 事業費19,833,845円 補助金18,000,000円 事業内容 学習事業・交流ネットワーク推進事業・情報の収集、発信事業 マッチング支援事業・相談事業 に係る事業費及び人件費 [福祉コミュニティ推進事業] 事業費30,250,000円 補助金23,500,000円 事業内容 法人運営事業・地域福祉企画運営事業・ 地域福祉サービス事業 に係る人件費					
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から ボランティア活動支援事業については、各町同一であったが、人件費的補助金は旧町大きなバラツキがあった。合併前には、人件費の不足分は収益事業の自主財源や介護保険施設の介護報酬等で補填していた社協も見られた。 合併後は、人件費等を精査し補助金額を決定した。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	41,500	41,500	41,500	36,000
	社会福祉協議会補助金	41,500	41,500	41,500	36,000
	財源 (千円)				
	国				
	県	9,000	9,000	9,000	1,500
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	32,500	32,500	32,500	34,500
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	32,500	32,500	32,500	34,500
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	3,250.0	3,250.0	3,250.0	3,450.0
	受益者人数(53,374)1人当り経費(千円)	0.6	0.6	0.6	0.6
経費に関する 補足説明	受益者人数 高齢者・母子・障害者・生活保護世帯				

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 事業内容及び事業量から判断して妥当である。	自己評価 (5点評価)
		5
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 社会福祉協議会は、高齢者や障害者の在宅生活を支援するために、訪問介護や給食サービスをはじめ、さまざまな福祉サービスをおこなっているほか、多様な福祉ニーズに応えるため、地域の特性を踏まえ独自の事業に取り組んでいる。また、社会的諸情勢を反映し、新たな福祉課題に対し、人として生きる権利を擁護し、自立を支援するために、多くの福祉関係者とともに活動をしており、地域の福祉活動の拠点として重要な役割を果たしている。	自己評価 (5点評価)
		5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 合併後本部と旧町の支部という組織体制であるが、将来的に統合する計画であり、現状としては適切であると思われる。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>高齢化が進む中、地域での生活基盤の必要性が重要となり、その役割は益々重大である。</p> <p>ただし、南あわじ市社会福祉協議会が発足して3年が経過したことから、これまで旧4町分の県補助金が交付されていた経過措置がなくなったため、補助金額としては減額となっている。</p> <p>今後、社会福祉協議会としても経費節減に努める必要があるものとする。</p>	<p>現状維持であるが、支部組織の統合が必要である。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>地域福祉活動の衰退になり市民の損失は多大である。</p>	